



浜通り研修 飯館D班

中島先生
遠藤美波 鈴木茉琳 石山心南
平悠矢 김동휘

目次

テーマを決めた経緯

伝える側の姿勢

聞き手側の姿勢

実践活動①

実践活動②



環境放射線研究のテーマ

環境放射線実習など経験したこともとに
過去と未来の浜通りについて考えたこと

過去：住民が「置き去りにされた」と感じた経験

↓住民に寄り添う必要がある

未来：住民が同じ立場で考えることのできる環境
づくり



テーマを決めた経緯

同じ立場に立つ

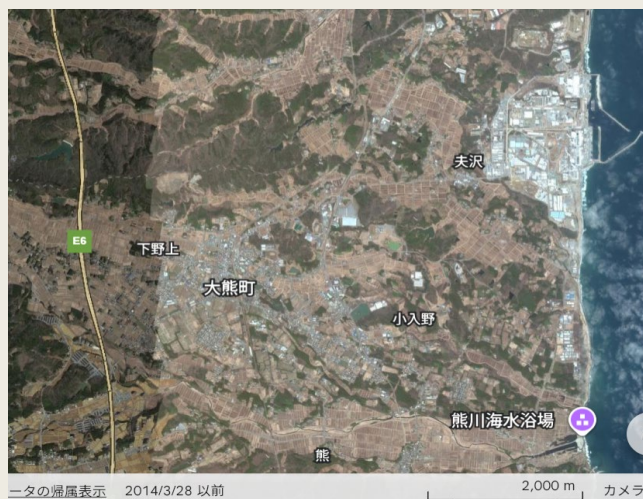
テーマを決めたきっかけ

- ・ 職員の話 「譲る以外の選択肢ない」などの振り返り
- ・ 住民の声 「訳も分からず追い出された」



立場を越えて考える必要性を実感

2014年



2024年



伝える側の姿勢

伝える伝えられるの関係で大切なことは何だろう？

- ・ 聞き手のことを考えられていない伝え方で上手く伝わらない事例が過去～現在に、、、
（事例１）食品の安全について安全と言ったが、住民が求めていることと
少しズレていた→嫌悪感、信じきれない



伝える側の姿勢で大切なことは？

「同じ立場に立つ」

が大事なのではないかな



伝える側の姿勢

- 聞き手の気持ちを考える

→相手を尊重、自分本位にならないことを意識。



- 否定しない

→様々な意見を受け入れる。楽しく対話することを目指す



聞き手側の姿勢

あまり興味・専門知識のないテーマや意見について受け入れたり、理解したい！

→初見のテーマ・意見に対して理解を深めるためには？

→自分の考えを伝えずに対話してよいのか？



聞き手側の姿勢

- 開かれた姿勢をもつ。

→非言語的な反応で傾聴の態度を示す。（うなずき、アイコンタクトなど）

- 柔軟かつ主体的に受け入れる。

→まずは相手の言葉を受け入れる。

→相手の意見を受け入れるだけでなく、自分自身の考えも伝えてみよう！

- 余裕と配慮を持つ。

→沈黙も会話の一部として受け止め、相手の発話リズムも尊重する。



実践活動①

～教育の視点から～



- ・ あちこちに学びは落ちてるけど、それを見つけるのは初めは大変...
- ・ 知りたい分野があってもなかなか気が進まないな。
- ・ 堅苦しいし、楽しくなさそう！！



おもしろい！

知りたい！

楽しい

「もっとやってみたい」を増やせる環境づくり



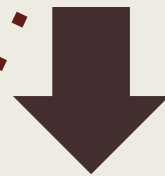
環境問題

学校にも限界が...

ジェンダー

助っ人が来たら...?!

楽しい・面白い
やってみたい！



- ・ 子供の「もっと○○」を増やすにはどうすればいいのか考える時間を増やす
- ・ 学校に地域の人を入れやすい環境を作る



実践活動②

～SNSの活用～



Why?

- 専門知識を持たない人、不安を抱えた人の立場に寄り添った説明出なかった
- 市民が欲した情報と報道にギャップがあった

「専門家が正しいことを言っていたかどうか」＋「その情報が市民に伝わる形になっていたか」が重要

伝える側：専門知識をかみ砕いて背景、不確実性も含めて伝える必要がある

聞き手側：疑問や不安を気軽に表明できる場が必要

→両者の橋渡しにSNSが活用できるのではないか？

なぜSNSが役に立つ？

一方的な説明でなく
対話に

双方向性



多角的な
視点

普段出会えない
意見と出会える

リアルタイムな会話
⇒誤情報の拡散

即時性

欲した情報と報道の
ギャップを軽減

可視化

匿名性

言いにくい意見、少数派の声
⇒冷静な対話の妨害

SNSは、「伝える側」と「聞く側」の溝を埋めるために
専門家が市民の声を拾い上げる 市民が専門家に直接相談できる
という双方向の場を提供するという点で役立つ

ご清聴ありがとうございました！

